

先達への誠意を語り存ぞまをうた、然し

法にも何れもあまやせん心甚くし心業に

加、どうか書分法勁辨法原と法新中上げ

轉法は形はあたりカキアヤ

今後毎号俳句を少一宛書せてし

と存ぞんまき（七月号は片巻只と矢田揮筆氏）

少きをその方西子カキも交際か及まて困ら

どうか法心易心方に法紙介と便きたい

おすす何れもその法新まも上るつたり